

生活協同組合連合会 首都圏コープ事業連合は 昭和シェルグループ、三菱商事（株）と日本初のGTL燃料実車走行試験を開始

昭和シェル石油（株）・シェルインターナショナルガス社・三菱商事（株）・生活協同組合連合会首都圏コープ事業連合（以下首都圏コープ）の4者は、11月18日から7ヶ月にわたって、日本初のGTL燃料を用いた実車走行試験を開始します。この試験は、輸送用途GTL燃料の世界的な普及活動を展開しているシェルグループと、低公害燃料導入の可能性について共同研究を行なっている首都圏コープと三菱商事が、日本市場への導入を検討するために昨年開始した実証試験の最終ステージとなります。

この試験では、昭和シェルのサービスステーションで首都圏コープの委託物流会社のディーゼルエンジン車両にGTL燃料を供給し、首都圏の公道で走行して、車両の走行性や排ガス特性などの実用性を検証します。

シェル独自の技術を用いたGTL燃料は、天然ガスから合成する特殊な燃料です。これを用いることで、排気ガス中の窒素酸化物や、一酸化炭素など有害な物質を減少させることができるため、環境に優しい燃料として大きな注目を集めています。

今回の公道での実車走行結果を用いて、GTL燃料がどの程度環境にメリットを与えるか、また、既存のディーゼルエンジンにどのような影響を与えるかを今後さらに検証し、近い将来の燃料として実用化をめざします。

< 参考 >

1. GTL (Gas to Liquids) について

- ・天然ガスからできる特殊な合成燃料です。
- ・無色透明な液体、硫黄分を含まない、高いセタン価（ディーゼルエンジンの着火性指数）、などの特徴があります。
- ・窒素酸化物、粒子状物質、一酸化炭素、未燃炭化水素のような有害物質を排ガス中から減少させます。
- ・今回の試験で使用される Shell GTL 燃料はマレーシアのピンツールの商業用 GTL プラント（12,500B/D、約 2000kl）から日本に運ばれます。
- ・既存のディーゼルエンジンに使用可能です。

2. 今までの経緯

2002年度より、上記4者はコープ低公害車開発（株）及び（独）産業技術総合研究所（AIST）の協力を得て共同研究を開始しました。既に今年度、つくば市のAISTテストコースで今回実証走行に用いるShell GTL燃料を用いて11,000kmのトラック走行試験を完了し、実用面及び安全面の確認をしています。



試験に使われる首都圏コープのトラック

< 生活協同組合連合会 首都圏コープ事業連合について >

東京都文京区小日向4-5-16 理事長：太田 朝昭

会員生協：東京マイコープ、神奈川ゆめコープ、エルコープ、ドゥコープ、ユーアイコープ、コープやまなし、ハイコープ、パル群馬

< この件についての問い合わせ先 >

首都圏コープ事業連合 環境事業関連会社（株）エコサポート 金古（電話 03-5976-6191）